

# 六 識 事

文永期

	心		
眼識	意	肉・天・慧・法・仏眼	
耳識		肉・天・慧・法・仏耳	
鼻識		肉・天・慧・法・仏鼻	
知	舌識		見
身識		肉身・天身・慧身・法身・仏身	
意識			

正説・<sup>りょうげ</sup>領解・述成・授記・歡喜

但<sup>しょうしゃく</sup>彰灼に二乗に授記して顕露分明に長遠の寿を説くことを知る。<sup>ここ</sup>茲の一座に於て聞知せざること無し。故に名づけて顕と為す。

大乘を学ばん者は肉眼有りとは雖も名づけて仏眼と為す。耳鼻の五根例して亦是くの如し。

## 魔梵釈女

菩薩処胎経「<sup>ほっしょう</sup>法性<sup>しんく</sup>は大海の如く是非有るを説かず。凡夫賢聖の人は唯心垢の滅する在り。平等にして高下無く、証を取る事<sup>たなごころ</sup>掌を反すが如し」と。

理具

加持

顕徳



六識事

知覺 聞見

